

中国観音霊場会

観音だより

観音ラブレター No.68



かさぬきのりあき  
笠貫憲明

1947年(昭和22年)1月31日生まれ  
鹿児島出身

徒歩にて中国観音霊場巡拝中の  
笠貫憲明氏にインタビュー！

●編集・発行 中国観音霊場会青年部  
〒755-0067 山口県宇部市小串210 宗隣寺内  
TEL 0836-21-1087 FAX 0836-21-1137

母を11才で亡くし、育ての親の祖母に連れられ、寺に参るようになる。そこでお釈迦様のこと、観音様のことを聞き、いつの日か見知らぬ土地を自分の目で見たいとの思いが巡拝の原点。

独立して建築業を49才まで営んだ後、50才からを第2の人生と位置づけ、主に徒歩での巡拝を行っている。

人に触れ、心に触れ、仏に触れる。自然と対峙を続けながら自問自答の観音旅。  
国内外を問わず、徒歩で巡拝を続ける笠貫憲明氏にお話を聞きました。

善 記憶が繋がらないのですね。  
笠 旅の過程や記憶が曖昧になります。歩くことによって初めて、例えば今回、島根県の安来に入った状態でしたら、あ、入ってすぐに海があるのだと気が付きます。内陸に入っていくと田んぼが目に入ってきます。

善 乗り物ではなくてですね！  
笠 五十歳の時に自転車で行き一周しましたが、自転車の旅ですと景色が飛んでしまつて結局、点にしかありませんでした。

善 巡拝者インタビュー  
笠貫氏(以下 笠) 日本国内に数多く遍路道、巡拝路があると思いますが、私の希望は生きている間に一通り歩いてみたいと思っています。まだ仕事をしているものですから、一年で約一ヶ月から一ヶ月半くらいの休みを取って歩きます。歩き巡拝は、日常の下世話な状態におかれた自分が解放される感じがします。お寺を訪ねる旅だというのが要因だと感じています。そして、歩くスピードは景色や物がとても良く見えると感じます。

善 善晩(以下 善) 色々な霊場を徒歩で巡拝されており、今回は中国観音札場を巡拝いただいているというところで、その動機や、歩かれる理由をお聞きかせ願えますか？  
笠貫氏(以下 笠) 日本国内に数多く遍路道、巡拝路があると思いますが、私の希望は生きている間に一通り歩いてみたいと思っています。まだ仕事をしているものですから、一年で約一ヶ月から一ヶ月半くらいの休みを取って歩きます。歩き巡拝は、日常の下世話な状態におかれた自分が解放される感じがします。お寺を訪ねる旅だというのが要因だと感じています。そして、歩くスピードは景色や物がとても良く見えると感じます。

善 はいそうですね。慈悲行が大切と説きます。  
笠 歩き巡拝は、そこに立ち返れる気がします。ある時、こんな事がありました。お参りしたら山門で老婆ちゃんにサツマイモを戴きました。食べ終わると五百円玉を握らされて「これ持って行きなさい」と。お礼を言つて住所を尋ねると「お礼などする必要はないよ」と言われました。別れを告げて歩き始めた道すがら、その老婆ちゃんのお友達と一緒にあったのです。そのお友達は、あのお婆ちゃんは一息子を亡くされ、その一息子さんの子供、つまりお婆さんのお孫さんが一人おられて、その方も大学卒業後すぐに亡くなられた。と教えてくれました。

「中国観音 友の会」会員募集のご案内

中国観音霊場会では、皆様により親しんで戴くために「中国観音友の会」を作り、右の要項で活動して参ります。多くの方とご縁を結ばせていただき観音信仰を深めて参りたいと思いますので、この機会にご入会いただきますようご案内申し上げます。

- 年会費▶ 2,000円  
期間▶ 1ヶ年(例)平成28年3月15日振込の場合は、平成28年4月1日から平成29年3月末までとなります。  
特典▶ ①「観音だより」を年4回ご指定の場所に郵送致します。  
② 各寺院において色々な特典(記念品の進呈等)がございます。  
③ 入会初年度は、中国観音霊場会発行の「ザ・観音」を進呈します。  
④ 毎年秋に行われます合同法要において特別に祈願したお守札を授与致します。  
⑤ 2年目以降の継続会員には、継続年数(3年、5年、7年、10年、15年、20年)により記念品を贈呈致します。

詳しいお問い合わせは 中国観音霊場会「中国観音 友の会」事務局  
〒729-0471 広島県三原市高坂町許山22 佛通寺内 TEL 0848-66-3502 FAX 0848-66-2563

中国観音霊場会ホームページ！ <http://kannon.org>

A 仏教とは、インドでお釈迦様によって伝えられた教えで、神道は、太古の昔から日本において自然の万物には神が宿ると

Q 仏教と神道は両方おがんでよいのですか  
(60歳・女性)

観音ひろば

笠 箆節制して、トレーニングもします。それと歩き巡拝を始めて十八年目になりますが、その過程

善 歩く体力ということですよ。  
笠 箆節制して、トレーニングもします。それと歩き巡拝を始めて十八年目になりますが、その過程

善 なるほど、中国観音霊場分校ですか。  
笠 一年に一回、そういう歩く旅をすることで目標がありますので、通常節制します。

(二ページからの続き)  
五百円を頂いた話をする、そのお婆ちゃんにしたら大金なはずだと聞かされました。私はその五百円を持てていることが非常に重くなり、お婆ちゃんに何か私ができることがございますかと尋ねたところ、お婆ちゃんに何かをするのではなく、あなたが住んでいる場所で、あなたのできることをやりなさい。それがお婆ちゃんに対するお礼ですよ。と言われました。大変心に染み、以来、その言葉をずっと胸の内にに入れて生きています。歩いてお寺を巡るということは、色々なことを教わる青空学校だと思っており、今回は中国観音霊場の分校に來たと考えています。

した、自然信仰や先祖崇拜などを大切にしてきた宗教です。  
仏教の教えが、日本に入ってくると日本人はそれを受け入れ、次第に神道と仏教は融合し、神仏習合や神仏混淆と言う信仰で、神と仏は同じように奉られ、崇拜されてきました。それが、明治政府により神仏が明確に分けられ、現在のようになりなりました。

日本人が古来より大切にしてきた信仰は、仏教や神道という枠にとられず崇拜されてきたものであり、我々はこれから先も、ずっとその事を大切にし、常に感謝する気持ちで、拜んでいただきたいものです。

回答者／第四番札所 木山寺  
高峰 秀光



インタビュー／第二十八番札所 清水寺  
執事 清水谷 善晩

善 良いお話を有難うございました。  
今日のお話を参考に、若い人たちを始め、沢山の人たちに巡拝をしていただけるよう、霊場会としても努力していきたいと存じます。

善 いいと思います一週間でも。やはり、変わるというのは凄い事だと思います。  
笠 それが巡拝の醍醐味だと思います。人それぞれで、車で巡る人、電車で巡る人、皆良いと思います。それを承知のうえで、若い人には歩き巡拝をオススメします。今現在、無くしかけている風景もありますし、無くしかけている人情もあります。必ずや自身にプラスとなるはずです。若い方には是非、歩いてお寺を巡ってもらいたいと思っています。

編集後記

お観音さまは半眼といい、薄い目をされておられます。半分で周りを見、半分で自身の心を見ておられると言われていました。笠貫氏のインタビューを拝読し、氏は歩きながら自身の心と向き合っておられるなと感じました。人に触れ、心に触れ、仏に触れる旅、それが観音巡拝です。皆様に素晴らしき出逢いと、ご縁がありますことを祈念いたします。

(編集部 宗隣寺内 山中 祐生)

| 鳥 取 県 |       | 島 根 県 |       | 山 口 県 |       | 広 島 県 |       | 岡 山 県 |       |       |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      |     |     |     |     |     |     |      |     |     |     |     |     |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 第三十三番 | 第三十二番 | 特別霊場  | 第三十一番 | 第三十番  | 第二十九番 | 第二十八番 | 第二十七番 | 第二十六番 | 第二十五番 | 第二十四番 | 特別霊場 | 第十九番 | 第十八番 | 第十七番 | 第十六番 | 第十五番 | 特別霊場 | 第十四番 | 第十三番 | 第十二番 | 第十一番 | 第十番 | 特別霊場 | 第九番 | 第八番 | 第七番 | 第六番 | 第五番 | 第四番 | 特別霊場 | 第三番 | 第二番 | 第一番 |     |     |
| 大雲院   | 観音院   | 摩尼寺   | 三佛寺   | 長谷寺   | 大山水寺  | 雲水寺   | 一樹寺   | 鯛淵寺   | 禅定寺   | 神門寺   | 多陀寺  | 観音院  | 大照院  | 功山寺  | 宗隣寺  | 龍蔵寺  | 洞春寺  | 漢陽寺  | 般若寺  | 大聖院  | 三瀧寺  | 佛通寺 | 向光寺  | 千光寺 | 西國寺 | 浄土寺 | 明王院 | 円通寺 | 蓮台寺 | 法界院  | 木生寺 | 誕生寺 | 正樂寺 | 餘慶寺 | 西大寺 |

観音巡拝指南書「The 観音」＊観音巡拝の真の意義と魅力・霊場三十七全寺院の紹介！

寺院短信 第三十番札所  
(鳥取県倉吉市)

打吹山 泉流院 長谷寺

「山号」打吹山  
について

昔々とある山に天女が舞い降りた。やんごとなき事情で木こりの妻となり、後に二人の子をもつけ、鼓、笛を教えて育てた。やがて妻は羽衣をまといて昇天した。残された子どもたちは母を偲んで山頂に登り鼓を打ち笛を吹き続けた。毎日、山から聞こえる鼓と笛の音を聞いた町の人々は、その山を打吹山と呼ぶようになったといわれ



ている。(諸説あり)  
現在、その二人の子ども達は「倉吉」にちなんで「お吉」「お倉」と名付けられ、ガソリンスタンド(打吹商事)の前に銅像が建てられている。

寺院短信 第三番札所  
(岡山県備前市)

日光山 千手院 正楽寺

山門・鐘楼堂等  
修復落慶

平成二十六年より行っておりました山門・鐘楼堂・手水舎等の修復工事が昨年十二月暮れに無事終了いたしました。

皆様の御協力に心より感謝申し上げます。

又、期間中に御本尊様の調査も行われ、平安後期の仏像で保存状態が良いことから、県重要指定文化財の指定を受けました。

修復落慶と併せて、御本尊様の開扉を行います。

平成二十八年 四月十二日(火曜日)

一日だけの開扉ですが是非お参りいただき、観音さまとの御縁をお結び下さいますよう御案内申し上げます。

合掌

住職法話 第八番札所  
(広島県福山市)

中道山 円光寺 明王院

住職 片山 弘雄

来る人も  
又来る人も

観世音

「ご存知の様に、観音様とは『観世音』又『観自在』菩薩様のことです。『観世音』とは、苦海の暗に、もがき苦しむ衆生の有り様を、よく観、その苦しみの声をよく聞いて下さり、『観自在』にして、見つけたなら、たちどころに我々の所に来たりて、お助け下さる仏様です。さて、この観音様、ご自身は未だ菩薩なるが故に、もう一つ上の如来となるべく修行中です。そして、その修行の内容こそ『拔苦与楽』即ち、大悲の功德で衆生の苦しみを引き、のみならず、その大慈の力で衆生を導き、望も叶えてやろうというものです。何と有難いことでしょうか。

ですが、如来様は皆に平等なのに対し、菩薩である観音様には「えこひいき」が残っており、あられます。『一心称名』『念彼観音力』即ち寸分の疑いも無く我が名を称え、我が力を信する者あらば、必ず行つて助けてやろう、と言つてゐて、裏を返せば、そうでない者は、観音様には見えないのかも知れません。観音様は『一刹の深信』『一念の淨心』をキヤツチされるのです。観音様に届く信心を得る為に行じるのが巡礼の旅であり、霊場を巡れば巡るほど、我々自身も観音様に近づけるのかも知れません。

寺院短信 特別霊場  
(広島県尾道市)

摩尼山 総持院 西國寺

夜桜開催

二年前の春より尾道市のシンボルツリーである西國寺境内にある数十本の桜に照明をあて、夜桜夜間拝観を一日限定で開催しております。派手な装飾はしておりませんが、一年に一度の素晴らしい桜を少しでも長い間、皆様に楽しんで頂きたいと思ひます。

花は我々衆生に人生の尊さを無言で教えて下さいます。

開催日時

四月二日(土曜日)十八時～二十時

雨天の場合は翌日十八時～二十時です。春とは言え、夜間は肌寒い時期ですので暖かくしてご来山下さいませ。

寺院短信 第三十番札所  
(鳥取県倉吉市)

打吹山 泉流院 長谷寺

「山号」打吹山  
について

昔々とある山に天女が舞い降りた。やんごとなき事情で木こりの妻となり、後に二人の子をもつけ、鼓、笛を教えて育てた。やがて妻は羽衣をまといて昇天した。残された子どもたちは母を偲んで山頂に登り鼓を打ち笛を吹き続けた。毎日、山から聞こえる鼓と笛の音を聞いた町の人々は、その山を打吹山と呼ぶようになったといわれ

寺院短信 第十六番札所  
(山口県山口市)

正宗山 洞春寺

菩提樹の因果

昨年夏、菩提樹の花の香に魅せられた乗用車が階段を乗り上げて寺の中門へ激突。観音様のおかげか、搭乗者には怪我はなく、車も大きな損傷はありませんでしたが、中門は大破。しばらくの間不通となり、皆様には大変ご迷惑をおかけしました。中門は、文化財指定こそ受けてはいませんが、先代住職の晋山記念で二十年前に改修されていた事もあり、新築にするのではなく、残った部材を利用しつつ、なるべく以前と同様の形状に復元。

昨年末のちょうどお釈迦様が菩提樹下でお悟りを開いた日である成道会の頃に、改修工事も無事に完了致しまして、何事もなかったかのように変わらぬ姿で皆様のお参りをお待ちしております。



寺院短信 第二十七番札所  
(島根県安来市)

瑞塔山 雲樹寺

ツツジの見頃

当山は元亨二年(一二二二)、孤峰覚明(三光国師)によって創建された禅寺で、後醍醐天皇の勅願所。出雲地方では最古の禅寺の一つです。

松並木の参道を通り境内に入ると、まず四脚門(大門、国重文)があり、寺内には県下でも数少ない朝鮮鐘(国重文)が現存するなど、多数の文化財を有し、方丈裏は一万坪の枯山水の庭園があります。



五月には紅葉の新緑が芽吹く中、数百株のツツジが見頃を迎えます。参拝の折には境内散策され、禅寺の趣を存分にお味わいになって下さい。

合掌



長谷寺蔵 観音巡礼図 (県指定文化財)

打吹山 長谷寺

〒682-0824 鳥取県倉吉市仲ノ町2960  
TEL0858-22-3272 FAX0858-22-3271

山門・鐘楼堂等  
修復落慶等法要

平成二十八年

四月十二日(火曜日)

午前10時より

中国観音霊場 第三番札所

日光山 千手院 正楽寺

岡山県備前市菰山一三〇五  
☎〇八六九一七〇七二六



TEL 080-2505-6507

〒753-0851 山口県黒川1834-2  
営業時間 11:30~15:00(木曜定休)

中国観音霊場 第27番札所



瑞塔山 雲樹寺

〒692-0056 島根県安来市清井町281  
TEL0854-22-2875 FAX0854-27-0281

中国観音霊場 特別霊場



摩尼山 総持院 西國寺

〒722-0044 広島県尾道市西久保町29-27  
TEL0848-37-0321 FAX0848-37-0615

魅力あふれる中国路山陽・山陰の名刹古刹37ヶ寺を結ぶ巡拝ルート



中国観音霊場会HP

<http://www.kannon.org>

観音だよりバックナンバー掲載中